

令和6年度茶業研究所研究報告会開催要領

1 趣 旨

茶業研究所では研究所設立100年目を迎え、「新時代の宇治茶イノベーションの拠点」として、宇治茶の価値・魅力を発信していくこととしています。今回の報告会では、有機栽培で問題となる手取り除草を効率的に行う方法の報告及び、好調な抹茶需要の一方で玉露の消費を喚起するための最新濃縮技術を用いた飲用方法の提案をします。

2 主 催

京都府農林水産技術センター農林センター茶業研究所
京都府茶生産協議会

3 日 時

令和7年2月7日（金）14:10～15:00

4 場 所

宇治茶会館 大ホール（宇治市宇治折居 25 番地 2）

5 内 容

(1) 開 会 茶業研究所長 挨拶

(2) 報 告

ア 「茶園の樹冠下耕うんによる除草効果について」

～有機栽培茶園の手取り除草の大幅削減を目指して～

実践型学舎・技術革新担当 副 主 査 とどろき 轟 だいし 大志

イ 「最新濃縮技術を用いた新しい玉露飲用方法の提案」

需要創出支援担当 技 師 たかがき 高垣 ゆうすけ 友祐

6 参集範囲

府内の茶生産者及び関係機関等

7 開催方法

会場での対面開催のみ

8 連絡先

京都府農林水産技術センター農林センター茶業研究所（宇治茶部）
電 話：0774-22-5577

9 その他

当日、同会場において京都府茶生産協議会主催の茶関連褒賞授与式及び茶業研修会（内容「荒茶生産における異物混入について（仮）」）が開催されます